

第33回日本ティーボールセミナー実施要項（案）

日本式ティーボールが野球・ソフトボールの未来を拓く
—女性指導者の活躍が野球・ソフトボールを救う—

1. 会期 令和8年3月21日（土）13時00分～17時40分
2. 会場 早稲田大学国際会議場 所在地：東京都新宿区西早稲田1-20-14
3. 主催 特定非営利活動法人日本ティーボール協会
4. 後援 スポーツ庁 厚生労働省
5. 共催 一般財団法人球心会 公益財団法人日本野球連盟
公益財団法人日本リトルリーグ野球協会
6. 参加費 成人：3,000円 学生（高校生含）無料

【プログラム】	
時程	総合司会：一之瀬 貴氏（早稲田大学教授・医学博士） アシスタント：松井 紗香氏（早稲田大学学生研究員）
12時45分	DVD上映Ⅰ「第28回全国小学生（3・4年生）ティーボール選手権大会」
13時00分	挨拶 齋藤 美穂氏（早稲田大学副総長・第4代ソフトボール部部长）
13時10分	副会長挨拶 池田 哲雄氏（ベースボールマガジン社代表取締役社長）
13時15分	理事長報告 吉村 正氏（日本協会理事長・早稲田大学名誉教授・アジアティーボール連盟会長） 「1年間の報告&女性指導者の活躍を期待し、応援する」
13時35分	基調講演Ⅰ 王 貞治氏（球心会代表理事）（予定） 「ティーボールは野球・ソフトボールのスターターゲーム—女性指導者の学校・地域での活躍に期待する—」
	基調講演Ⅱ 梅原 美樹氏（球心会専務理事） 「球心会のこの一年、その活動報告と今後の方針について」
14時10分	基調講演Ⅲ 吉永 武史氏（早稲田大学スポーツ科学学術院准教授・日本スポーツ教育学会副会長） 「次期学習指導要領の改訂に向けた議論からこれからの体育を考える—ティーボールの授業で子供たちが何を学び、どのような力を身に付けるか」
14時40分	休憩&意見交換会Ⅰ
15時00分	基調講演Ⅳ 友成 晋也氏（アフリカ野球・ソフト振興機構代表理事） 「日本の野球道『ベースボールラーシップ』がアフリカを変える—野球未開の地を持続可能な発展に—」
15時30分	基調講演Ⅴ 河内 志郎氏（アジア連盟副会長・野球の町阿南推進協議会会長） 「二つのアジア大会（スポーツ庁&こども家庭庁後援）の魅力と今後の課題」
15時50分	休憩&意見交換会Ⅱ
16時20分	シンポジウム「女性指導者の活躍が野球・ソフトボールを救う」 司会：頼住 道夫氏（日本協会専務理事・元神奈川県厚木市立東名中学校校長） アシスタント：坂本 梨緒氏（早稲田大学学生研究員） 【シンポジスト】 ○青木 文恵氏（ミアヘルサ株式会社代表取締役社長） 「高齢者福祉センター・保育事業等を経営。毎年、健康福祉ふれあいティーボール大会を後援し、女性指導者の重要性を痛感」 ○小西 美加氏（元女子プロ野球選手日本代表・京都スポーツ殿堂入り） 「幼児にティーボールを指導して今思うこと」 ○陳 兆麗氏（中国蘭州大学客員教授・全米シニア・スローピッチ・ソフトボール協会殿堂入り） 「中国やアメリカでは女性のスポーツ指導者は当たり前」 ○手賀 有紀子氏（日本協会理事・社会保険労務士） 「保育所・幼稚園・こども園・小学校・地域での女性指導者の活躍と、ティーボールの普及について考える」
17時30分	総括 佐藤 文宏氏（日本大学名誉教授・医学博士）
17時35分	閉会の言葉 一之瀬 貴氏
17時40分	解散

※講演者は都合により変わることがあります。